



発刊によせて

健康・スポーツ科学センターの使命と役割

九州産業大学長 山崎 良也

九州産業大学は、「市民的自覚と中道精神の振興」、及び「実践的な学風の確立」を建学の理念として掲げ、社会に貢献をしてきました。

私は、平成8年1月に本学の果たすべき重要な課題として、次の4つの項目を掲げました。

1. 国際交流の深化
2. 情報教育の強化
3. 社会に開かれた大学
4. 大学院の拡充

以上の課題に基づいて、本学の教職員はたゆまない努力を重ねてまいりました。

さて、平成3年7月の大学設置基準の大綱化により、一般教育と専門教育の融合化を図るために教養教育の抜本的見直しを開始しました。

教養部教授会を中心として、全学の委員会において検討を重ねた結果、平成6年4月、教養部を廃止し、国際文化学部を開設するという改革を行いました。

こうした中で、平成8年6月、国際文化学部の組織の見直しについての最終案が提出されました。

この案に基づいて、健康管理科目教室では、学生部を含めて、将来の健康管理、スポーツ振興のあるべき姿を模索した結果、全学の合意の下に、次のような体育センター改組案を作成しました。

それは、健康管理科目教室と体育センターを統合し、新たに「健康・スポーツ科学センター」（以下「センター」と略称）を設立して、その中に、①教育研究部門、②スポーツ科学部門、③健康管理科学部門の三部門を置き、「健康科学教育の新しい方向を打ち出して、大学における教育と研究の新たな発展を目指す」というものです。

「教育研究部門」には、健康科学とスポーツ科学の教育研究を担当する学内の教員スタッフ全員が所属し、健康・スポーツ科学に関する研究成果を学生の教育に還元できるように、部門内にセンター教授会を設けます。

「スポーツ科学部門」では、学生の体力テストを含めたトレーニングの処方と、各種運動施設の合理的な使用管理を行います。併せて、地域社会における生涯スポーツの振興に寄与するために、スポーツ講演会やスポーツ

技術講習会等を定期的に開催する計画をもっています。

「健康管理科学部門」では、大学における学生・教職員の健康管理サービスを行います。

以上の構想のもとに、平成10年4月1日、九州産業大学健康・スポーツ科学センターが発足しました。

スポーツは、人々の心身の健全な発展に資するとともに、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成に寄与することのできる世界共通の文化の一つです。とりわけ、現代社会の中では、運動不足と精神的なストレスに見舞われがちです。

このようなときにこそ、各人がスポーツを楽しむ機会を積極的に創り出して、個性豊かな生活を確保することが必要ではないでしょうか。また、地域と結びついた、社会に開かれた大学を目指す本学にとって、スポーツの振興はこの上なく重要なことです。今後、本学では学生の多様なニーズに対応したスポーツ活動や社会における生涯スポーツの振興を目指して、施設・設備の一層の充実を計り、センターを中心とした健康・スポーツ科学の充実を計るため全学挙げての協力態勢を創ることが肝要です。

今後のセンターとしての活動方針といたしましては、本学の施策の一環といたしまして、体育施設を地域社会へ積極的に開放し、もって生涯スポーツの推進役を果たすことで、地域の方との共生を図っていかなければなりません。

このことを踏まえ、センターで現在取り組

んでいますのが、「学長杯少年サッカー大会」、「学長杯空手道選手権大会(高校生以下)」などの青少年育成を目的とした大会、および各種スポーツの技術講習会等を実施しております。

最後になりましたが、今後ともセンターの使命と自覚を肝に銘じ、邁進されんことを願ひまして、挨拶といたします。